



おおわりき
 ユンボの先に付けた大割機で
 繊細な動きもできる

重機オペレーター、現場代理人
 とはなあや
土鼻亜耶さん
 エマーシヨンクリート株式会社
 東京支店
 東京都世田谷区桜新町1-15-1-205



地球をつくる、女性の力を生かせる仕事です！

現在は防潮堤を築く現場で、重機オペレーターと現場代理人をしています。二十歳のころ、祖父が営んでいた土木の会社を母が継ぎ、手伝いたいと大学を中退してこの仕事を始めました。働きながら資格を取るうちに現場が楽しくなり、土木の世界に魅了されていきました。地球に新しいものをつくり、それが残るうれしさがあります。

自然を相手にした仕事だと、いつも意識しています。河川工事で増水したとき、最初は一生懸命水をせき止めようとしていたのですが、流路をつくることでコンクリートを守ることができました。自然の摂理を優先して施工する方がスムーズに進むと勉強させられました。

また、工事で切った太い木を乾かしてテーブルに加工するなど、生かせるものは生かして使う提案ができる技術者

であるような心がけています。実は、重機操作では力仕事が多となく、手元だけで操作できます。何ミリという単位で土をならし、砕石を敷くなど繊細さも要求されます。自分の感覚の中に「物差し」を持って操作し、それと実物がマッチしたときは気持ちいいですね。感受性の高い方に向いていると思います。重労働というイメージで、女性にはできないと思いがちですが、実際はそんなことはないのです。適度に体を動かすので健康的だし、生活リズムも整います。

そして、職人として経験を重ねた先のキャリアとして、現場代理人は女性の力を生かせる仕事だと思います。段取りをして、近隣の方の意見をまとめ、一方で業者をとりまとめるような、主婦が家でパーティーを開く過程に似た

ところがあるのです。整理整頓や、細かい確認も女性は得意だと思っています。

現場では、誰もが仲間だという意識で、「コミュニケーションを大切にしています。部下がスキルアップしたのを見て「すごいじゃない」と言えるのが一番の喜びです。

弊社ではこれから建設業への女性の参入に貢献したいと考えています。女性ばかりのチームを組んで、いずれ託児所や寮もつくりたい。そしてこれをきっかけに、将来的には重機操作、現場管理にも女性を進出させたいですね。



仲間と打ち合わせ。
 コミュニケーションを大切に